

# 令和2年度 私立学校専門研修会 イノベーション教育 (グローバル・ICT活用) 研究部会 実施案内

## 未来型教育に学ぶ ～学校に求められる変容とは～

当部会は、変容する社会において私学として先進的な教育を行っていくための、イノベーション教育の研究を進めており、常に教育に関する最先端の内容を扱うことを目指している。昨年度は、いかに新たな教育を学校現場で実践するのかに焦点を当て、講演やワークショップからデザイン思考やPBL型学習について学んだ。

世界の先進的教育は、経済優先の格差社会から循環型社会へ舵を切ろうとしているが、わが国では、知識偏重の伝統的20世紀型授業が2020年の現在でも続いている。一部の団体や私立学校等が教育改革に着手する状況が見られるが、地に足がついた研修が行われているとは言えず、海外のごく一部の学校をあたかも成功例のように紹介する風潮もある。

今年度は、日本で実際に行われている、優れた教育実践を紹介するプログラムを用意した。基調講演では、プレイフルラーニングをキーワードに先進的かつ独創的な学びの場づくりを実施している上田信行氏にお話を伺う。実践発表・ワークショップではGIGAスクール構想へのイメージ作りを行うほか、Skypeを活用した英語でのグローバルPBLを実践したり、マインクラフトというプログラミング学習を横軸に教科横断型の授業をどのように実践するのかを学び、コロナ禍後の未来型教育のあり方を模索する。

新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態を受け、学校教育が新たなステージへと進んでいくことが期待される中で、当研修会が未来の学校のあるべき姿をイメージする一助となれば幸いである。

講師 上田信行 同志社女子大学 名誉教授/ネオミュージアム 館長

一般社団法人グローバル・ティーチャー・プライズ・ジャパン

高橋一也 工学院大学附属中学高等学校 ラーニング・マネージャー

堀尾美央 滋賀県立米原高等学校 教諭

正頭英和 立命館小学校 教諭

令和2年12月4日(金) アルカディア市ヶ谷 3階「富士」

募集人数：50名

参加対象：理事長、校長、副校長・教頭、グローバル・ICT・キャリア教育等担当及び  
一般の教員 (参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校)

参加費：18,000円 (昼食費含む)

| 時刻 | 8<br>30 | 9   | 10<br>40 45 | 11<br>15 | 12                | 13                | 14<br>40          | 15<br>20    | 16 | 17<br>50 |
|----|---------|-----|-------------|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------|----|----------|
| 日程 | 受付      | 開会式 | 基調講演        | 昼食       | 実践発表・<br>ワークショップ① | 実践発表・<br>ワークショップ② | 実践発表・<br>ワークショップ③ | 閉<br>会<br>式 |    |          |



◇当研修会は、必要な新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催致します。

◇今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、当研修会はやむをえず開催を中止、延期または研修内容を変更する場合があります。その際は、当研究所ホームページに情報を掲載します。ご理解の程お願い致します。

研究所ホームページ

## ◆ 基調講演 ◆

### ①「未定」 上田 信行 (同志社女子大学 名誉教授/ネオミュージアム 館長)

1950年、奈良県生まれ。同志社大学卒業後、『セサミストリート』に触発され渡米し、セントラルミシガン大学大学院にてM.A.、ハーバード大学教育大学院にてEd.M., Ed.D. (教育学博士)取得。専門は教育工学。ブレイフルラーニングをキーワードに、学習環境デザインとラーニングアートの先進的かつ独創的な学びの場づくりを数多く実施。1996~1997 ハーバード大学教育大学院客員研究員、2010~2011 MITメディアラボ客員教授。著書に『協同と表現のワークショップ:学びのための環境のデザイン』(2010, 共編著、東信堂)、『ブレイフルラーニング:ワークショップの源流と学びの未来』(2013, 共著、三省堂)、『発明絵本 インベンション!』(2017, 翻訳、アノニマ・スタジオ)、『ブレイフルシンキング決定版:働く人と場を楽しむ思考法』(2020, 宣伝会議)、など。※neomuseum のウェブサイト <http://neo-museum.com>



## ◆ 実践発表・ワークショップ ◆

### ※グローバル・ティーチャー賞(Global Teacher Prize)とは・・・

教育分野で優れた功績を遂げた教師を表彰する、英国の国際教育機関・パーキー財団が2012年に設立した。2019年には世界150カ国、3万件以上のエントリーがあった権威ある賞で、「教育界のノーベル賞」とも言われる。実践発表・ワークショップには、グローバル・ティーチャー賞ファイナリスト10・50に入賞した国内の教員3名が登場し、それぞれの教育実践を紹介する。3名は一般社団法人グローバル・ティーチャー・プライズ・ジャパンの理事を務め、日本版グローバル・ティーチャー賞の設立に向け取り組んでいる。



### ①「PBL授業のヒント」 高橋一也 (工学院大学附属中学高等学校 ラーニング・マネージャー)

慶応義塾大学・同大学院で学んだ後に渡米。米・ジョージア大では「PBL(Project Based Learning)」やアクティブラーニングなど、効果的な教育方法を設計・開発するための研究に従事し、全米優等生協会に選出される。帰国後の2008年4月から英語教諭として教壇に立ち、2015年からは工学院大学附属中学校・高等学校に勤務。2016年、レゴを活用した学習活動が生徒の創造性と主体性を引き出す活動として、日本人として初めて「グローバル・ティーチャー賞」Finalist 10に入賞。1年の研究休暇でオランダ・ユトレヒト大学にて発達認知心理学の研究に従事した。



### ②「世界とつながる教室のつくりかた」 堀尾美央 (滋賀県立米原高等学校 教諭)

2016年度のグローバル教育コンクールでJICA理事長賞を受賞。2018年「グローバル・ティーチャー賞」Finalist 50に入賞。ICTを活用して、地方の公立校でもできる世界との交流の在り方を考え、Skypeなどを活用して生徒へ英語によるコミュニケーションの機会を継続的に提供。同賞入賞時点で25の国々とコミュニケーションを実施し、国を当てるゲームや複雑な議論など幅広い活動を行っている。活動の中ではコミュニケーションする国の課題をお互いに挙げ、それを解決する製品開発のアイデアについてプレゼンテーションしあうような継続的な活動も行っている。



### ③「ゲームで広がる教育の可能性」 正頭英和 (立命館小学校 教諭)

1983年大阪府生まれ。関西外国語大学外国語学部卒業。関西大学大学院修了(外国語教育学修士)。京都市立中学校、立命館中学校高等学校を経て現職。全国で学級づくりや授業方法のワークショップなどを行っている。2019年、「グローバル・ティーチャー賞」Finalist 10に入賞。Minecraft: Education Editionを通してプログラミング的思考を養うと共に、教科を跨いで総合的な人間力を高める授業が評価された。Minecraftで京都の街並みを作り上げることで児童の創造性を高め、児童同士のチームワークや論理的思考を構築し、さらにSkypeを活用して海外学生に制作物を発表することで、「使える英語力」と幅広いコミュニケーション能力を養っている。

### ◆ 講師・指導員 (順不同) ◆

上田信行 (同志社女子大学 名誉教授/ネオミュージアム 館長)  
高橋一也 (工学院大学附属中学高等学校 ラーニング・マネージャー)  
堀尾美央 (滋賀県立米原高等学校 教諭)  
正頭英和 (立命館小学校 教諭)  
吉田 晋 (富士見丘中学高等学校 理事長・校長)  
中川武夫 (一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長)

### ◆ 専門委員・指導員 (順不同) ◆

平方邦行 (工学院大学附属中学高等学校 校長)  
嵯峨実允 (学校法人藤華学院 理事長)  
跡部 清 (成蹊中学高等学校 校長)  
山中幸平 (学校法人山中学園 学園長)  
原田賢幸 (学校法人原田学園 理事長)  
川本芳久 (一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長)

## ◆プログラム◆

〈会場〉アルカディア市ヶ谷3階「富士」

|             |   |
|-------------|---|
| 8:30-9:00   | ◇受付◇  |
| 9:00-9:40   | ◇開会式◇<br>司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長<br>1. 開会<br>2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所 理事長<br>3. 役員・専門委員紹介<br>4. 研修会運営方針説明 平方 邦行 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長<br>5. 日程説明<br>6. 閉式 |
| 9:45-11:15  | ◇基調講演◇<br>司会・講師紹介 原田 賢幸 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員<br>演題 「未定」<br>講師 上田 信行 同志社女子大学 名誉教授/ネオミュージアム 館長  |
| 11:15-12:00 | ◇昼食◇ 昼食をご用意しております。会場内でお召し上がり下さい。  |
| 12:00-13:30 | ◇実践発表・ワークショップ①◇<br>司会・講師紹介 山中 幸平 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員<br>テーマ 「PBL 授業のヒント」<br>講師 高橋 一也 工学院大学附属中学高等学校 ラーニング・マネージャー  |
| 13:40-15:10 | ◇実践発表・ワークショップ②◇<br>司会・講師紹介 跡部 清 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員<br>テーマ 「世界とつながる教室のつくりかた」<br>講師 堀尾 美央 滋賀県立米原高等学校 教諭   |
| 15:20-16:50 | ◇実践発表・ワークショップ③◇<br>司会・講師紹介 嵯峨 実允 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員<br>テーマ 「ゲームで広がる教育の可能性」<br>講師 正頭 英和 立命館小学校 教諭  |
| 16:50-17:00 | ◇閉会式◇<br>司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長<br>1. 開式<br>2. 総括 平方 邦行 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長<br>3. 閉会挨拶 中川 武夫 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長  |

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

## ◆会場案内◆

[アルカディア市ヶ谷](#) (東京都千代田区九段北 4-2-25)

JR・地下鉄 市ヶ谷駅徒歩2分 TEL:03-3261-9921(代表)

## ◆参加申込み方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込み先に FAX または郵送でお送り下さい。お電話での申込みは受け付けません。



**申込み先** 一般財団法人日本私学教育研究所 一般研修会担当宛  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6階  
TEL : 03-3222-1621 FAX : 03-3222-1683 HP : <http://www.shigaku.or.jp/>

2. 申込みは先着順に受け付けます。募集人数をこえた場合は期日前でも締切りとなることがあります。申込みを締め切った場合は当研究所ホームページでお知らせ致します。
3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」をお送り致します。参加費は「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで下記振込み期限までにお振り込み下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。

**申込み締切日・キャンセル期限:令和2年11月26日(木)必着**

**参加費振込み期限:令和2年12月2日(水)必着**

## ◆注意事項◆

<参加申込みについて>

申込み後、2週間以内に「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

<変更・キャンセル・欠席について>

必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。

キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信致します。

変更の場合は、「参加確認証(再発行)」を郵送致します。上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

参加費の返金・キャンセル料は下記の取り扱いと致します。

| 11月26日(木)迄のご連絡                | 11月27日(金)以降のご連絡及び無断欠席   |
|-------------------------------|---|
| 事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金致します。 | 参加費の返金はできません。<br>研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料をして全額(18,000円)を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。 |

## ◆新型コロナウイルス感染症について◆

- 受付時の参加者の検温及び手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ人と人との距離をとるなど「3つの密」の回避に努めます。
- 講師並びに運営関係者・スタッフはマスク(場合によってはフェイスシールド)を着用します。
- 参加者にはマスクの着用をお願いします。
- 当日 37.5 度以上の熱のある方、体調のすぐれない方などは参加をお断りする場合があります。その際は研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費の返金・キャンセル料の取扱については、上述の通りです。
- 今後の感染拡大状況によっては、研修会の延期または中止、会期の短縮、講師等の変更、参加者交流プログラム等の内容変更、受入れ人数の調整など見直しを行う場合があります。
- 新型コロナウイルス感染が疑われる研修会参加者・関係者が発生した場合は、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。

新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は随時更新しますので、当研究所ホームページをご覧ください。

## ◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用致します。

## ◆参加者へのお願い◆

当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等を HP・ブログや各種 SNS 等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させて頂く場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので、予めご了承下さい。

## ◆傷害保険について◆

当研修会期間中の参加者等の傷害保険には加入致しませんのでご承知置き下さい。

誤送信が増えています。FAX送信前に番号をご確認下さい。

一般財団法人日本私学教育研究所 行  
FAX 番号 03-3222-1683

【申込締切日：11月26日（木）必着】

# 令和2年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究部会 参加申込書

\_\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

※黄色い枠内には必ずご記入下さい。

|           |  |      |
|-----------|--|------|
| 参加者氏名     | (ふりがな)   | 職名   |
|           |  |      |
| 参加者連絡先    | 携帯電話番号：<br>自宅電話番号：<br>☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。 | 担当教科 |
|           |  |      |
| メールアドレス ※ |  | 校務分掌 |
|           |  |      |

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 学校(法人)名 |                      |
| 学校住所    | 〒<br>TEL ( ) FAX ( ) |

○参加者本人以外または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先・受取人氏名をご記入下さい。

|       |  |
|-------|--|
| アンケート | ※講師への質問事項等がございましたらご記入下さい。回答を希望する講師がいる場合は○をつけて下さい。時間の都合上、ご記入いただいた質問に回答できない場合もございます。ご了承下さい。<br>< 上田信行氏 ・ 高橋一也氏 ・ 堀尾美央氏 ・ 正頭英和氏 > |
|-------|--|

|     |  |
|-----|--|
| 通信欄 |  |
|-----|--|

◇FAX または郵送でお申込み下さい。

受付No.  
(研究所使用)

※参加者連絡先・メールアドレスは必ずご記入下さい。

今後の研修会のご案内等をメール配信する場合がございます。2名以上の申込みの場合は本申込書をコピーしてお申し込み下さい。